

らるるⅡ りる

for adult only



伝説の剣士は
私の手に墮ちた

あの時キャロンが
持っていたものは
本物のリバースの剣
ではなかったのだ。

今もどこかに眠って
いるリバースの剣
……しかし……

最早
それも……

今ではもう
どうでもよく
なった……

相変わらず
上手い蜜よのう……

あれから毎日
キャロンは私に
蜜をすすられ……

ほおれ……
もっと飲ませろ……
マ○コ汁を垂れ流せ

身体を隅々まで
舐り尽くされている

口では強がり
を言っているが……

やっあつ！吸つちやつ……
ダメえええええつっ！！

今では私の姿を
見ただけで
マ○コを濡らす
様になった……

尻を動かすでない
じっとしておれ

くく……
美味い
美味い……

今日も極上の
マ○コ汁だったぞ
キャロン……

食事を終わらせた
後は……

キャロンの身体を
心ゆくまで楽しむ



ほおれ……
目の前の触手チ○ポを
握りしめて踏ん張れ
……く……

どうした？
足が震えてるぞ
もっとしつかり
尻を上げんか……



ムハ...も...

ゆるひ...
て...ええ...

ぐす...
や...め...

おいキャロン
何を寝ている...
さつさと立ち上がって
尻を振らんかった!

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

約束ではないか

ユリア王女や侍女達に手を出さない代わりに

お前はいいなりになるのだ

嘘ではない...
キヤロンの蜜の味
を知ってから...

他のモノは口に
する気にもならん

そおれっ!!!

そのうち本物のリバーズの剣を見つけて……仲間が助けに来てくれるかもしれないぞ……

くく……

もつとも……すぐに黒騎兵に下げ渡してやったからな……

それまではじつと耐えて……

私の言いなりに闘われ続けていくのはお……

今はどうなっているのか……

どうした？
またダウンか？

マア...

ほおれ...
しやぶれキヤロン

あ...
ひて

あ...
あ...

あ...
あ...

マ○コに尻穴まで犯され
ながら・ラモー・ルーの
チ○ポに奉仕する伝説の
劍士か...

お前の仲間達に
見せてやりたい
のお...
お...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...





ワタシとも
あろうものが
.....

ア...

ア!

ア!

ア!

ア!

ア!

ア!

これではまるで
私の方が...

剣士様の身体の
虞にされている
様ではないか...

体中がチ○ホに
なった様な...

58

文字通り
体中をチ○ホ
にして……

キャロンの穴に
突っ込んで射精し
突っ込んで射精し

身体中をコスリ
ぶっかけ汚して
も……

一向に
収まらん……



あつ...あひつ...
はへええええ...

あ...も...らめつ...
チ○ポツ...しゅごい
よおおおおお...

ラモー・ルーひやま
あああ...もつと...
いつばいくらひや...

チ○ポしてえ
えええ...
あ...



うるさいのう
この肉ケースは：
全く：歩く度に
アヘアへ言いおって

またイッたのか？
堪え性の無い
エロ剣士めっ

ほれっ見てみる
あんなところに
ユリア王女がいるぞ

ふ...あ...



おはっ!?

アハハハ
アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ
アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ



ほおれっ
言ってやれっ!!!

ラモー・ルー様の
チ○ポケースにされて
幸せですとなっ!!!

ハッ
チッ

ドッ
ダッ

ドッ
ダッ

たっぷり膨れ上がった
腹を見てもらいながら
言うがいいっ!!!

さあキヤロン：
ラモー・ルー様の
チ○ポと精液を
詰め込んで：



ご…めんなひやい…
ユリア…しやまああ…

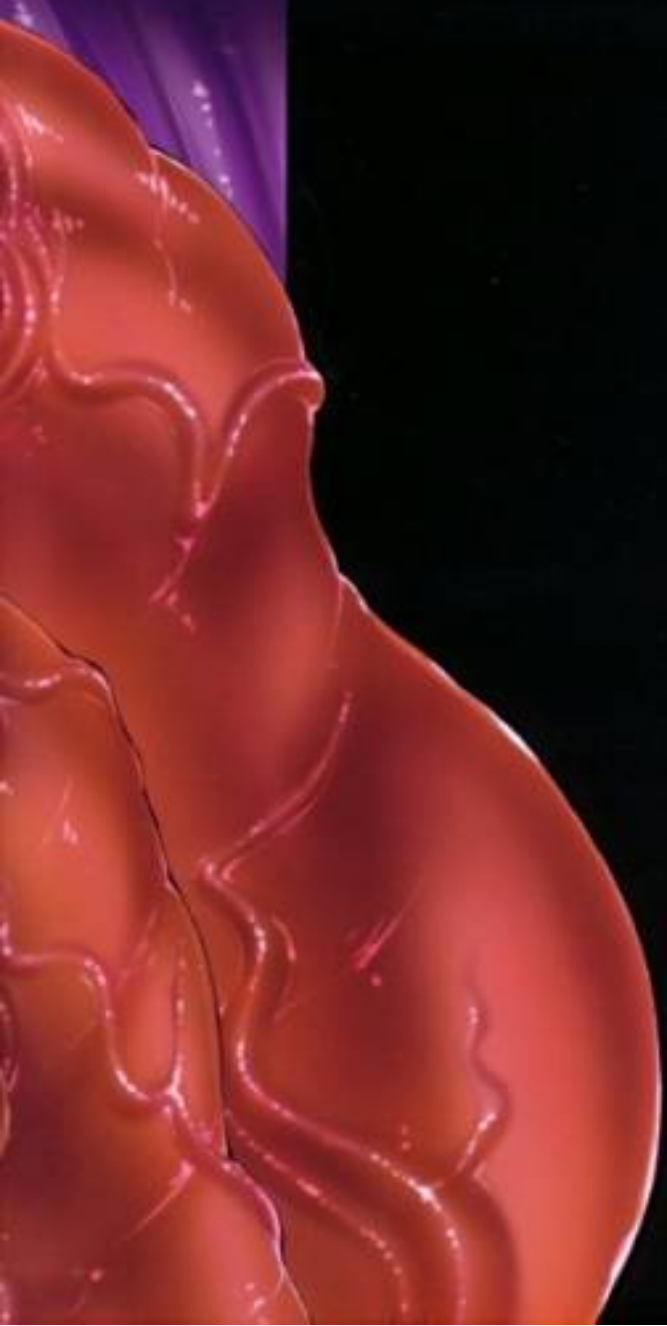
あらひつ…
…ぐすつ…

ラモー…ルーしやま…
…の…チ○ボけーしゆ
に…なつひやつたあ…

しつ…幸せ…れひゆ
ううう…あひえつ…
あひえつ…ぐす…

三年後...





**molotov
cocktail**